

NPO法人

久喜の自然を愛する会

会報

NO. 31 2018年12月

会のモットー

- 1 足元から自然を学ぼう
- 2 ^{いま} 現在 ある自然を次の世代に残そう

★★活動の記録（写真版）★★

★ふれあいウオーク「吉羽天満宮」

2018年7月1日(日)



東地区保護地での記念撮影



コニシキソウ



アレチギシギシ



ノブドウ



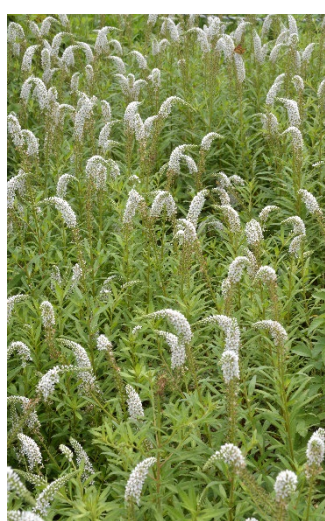
イヌコモチナデシコ



観察風景



ヒメジョオン



ヌマトラノオ



ミゾコウジュ



ナヨクサフジ

★梅田市長・井上市議当選祝い

2018年7月28日(土)



★デンジソウ保護活動

2018年7月30日(月)

2018年11月15日(木)



記念撮影



作業風景



赤城自然園での記念撮影



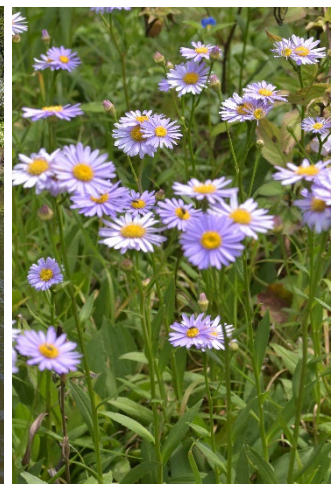
マツカゼソウ



レンゲショウマ



ミソハギ



ボルトニア



ヒメヒマワリ



オミナエシ



ワレモコウ



ノアザミ



サワギキョウ



ウツボグサ

★ふれあいうオーク「わしのみや」

2018年9月9日(日)



鷺宮支所駐車場



観察風景



コヒルガオ



セイバンモロコシ



クズ



デンジソウ



クルマバザクロソウ

★ビオトープ活動状況



★キクイモ掘り

2018年12月9日(日)



★野草保護活動

6月 ★ 東側 90名



★ 西側 6名



7月 ★ 東側 5名



★ 西側 6名



8月 ★ 東側 7名



★ 西側 4名

9月 ★ 東側 10名



★ 西側 4名

10月 ★ 東側 6名



★ 西側 7名



放課後子供教室教

7月9日 東鷲宮小学校 ザリガリ釣り



9月3日 東鷲宮小学校 自然観察



9月10日 太田小学校 自然観察



10月6日 太田小学校 ドングリ遊び



★★活動の記録★★ 2018年前半～2018年後半

★ふれあいウォーク「吉羽天神」2018年7月1日(日) 9時00分～

松本

今年は6月30日に関東甲信地方の梅雨が明けた。いつもこの時期のふれあいウォークは空模様の心配をしていたが、今年はその心配はない。

宮代運動公園の駐車場に9時集合。藤浪代表理事の挨拶時に「今日はタウン誌クッキーズの取材があり、途中の野草保護地で写真を撮ります」の周知がありました。出発してまずはユウゲショウとシロザ、ノブドウを観察。圏央道の高架下で長須顧問はマメグンバイナズナの茎を折り手に取り、「種をよく見ると、相撲の行司が持つ軍配に似ている、種が小さい」のでマメグンバイナズナと呼びます。また、シロザは戦時中、ホウレンソウの代わりに食べたとの説明がありました。高架下を過ぎ、中落堀川に架かる備中岐橋付近でイヌコモチナデシコを見る事ができた。しばらく行くと、久喜駅東口から東に伸びる東口大通りの延長工事をしている付近では、ヤブマオ、アオツズラフジ、アレチギシギシ、アキノノゲシが見られた。吉羽天満宮を経て、東地区保護地に向かう。

9時45分頃、特別会員の梅田市長が公務でお忙しい中、東地区保護地付近で観察会に合流されました。野草保護地にはクッキーズの取材陣が待機していた。取材の一環として、当会の理事全員の写真と観察会に参加した全員の集合写真を撮影した。

保護地にはノジトラノオ、ハンゲショウ、フジバカマ、ミゾコウジュ、クマツヅラ、オグルマ、カラナデシコの絶滅危惧種を見る事ができた。

保護地から宮代運動公園に戻る途中の中落堀川沿いではアレチヌスビトハギ、オオブタクサ、コセンダングサ、ヒメジョオン、アレチマツヨイグサ、コゴメガヤツリ、アゼナ、ホタルイが観察出来た。

出発地の宮代運動公園に戻り、一休みしながら、参加者に感想を述べていただき、観察会を、お開きとしました。藤浪代表理事は引き続きクッキーズの取材を受けられました。

《 当日出席者の主な感想 》(文責会田)

千葉さん (一般) はじめて参加した。ついていっただけ。長須先生の教え子です。会えてよかった。

早坂さん お疲れさまでした。見る花はそんなに多くなかった。時期が来ればいろんな花が見られるはずです。帰ったら図鑑を見て覚えるようにしたい。

中山さん まだ野草を覚えていない。これからも少しずつ覚えていきたい。

嶋田さん 時間を間違えて遅れました。市長の車に乗せてもらった。会長より説明を受けてよかった。

齊藤さん 梅雨明けが早く暑い中お疲れさまでした。長須先生より教わりよかった。代表からも細かい説明を受けた。これを機会に参加ください。

藤浪会長 今日はお疲れさまでした。当選祝い・バス旅行参加ください。又会員以外の方も参加ください。

★クッキーズの取材 2018年7月1日(日) 9時00分～

7月1日(日)のふれあいウォーク「吉羽天神」の観察会時、タウン誌「クッキーズ」の取材を受け、対応された藤浪代表理事の記事がトップ記事で紙面を飾りました。

★梅田市長・井上市議当選祝い 2018年7月28日(土)

嶋田

当会特別会員の梅田氏と井上氏のお二方は、4月22日(日)に行われた久喜市長及び久喜市議会議員選挙においてめでたく当選されました。

お二人の今後のご活躍を祈念し、会員有志22名が出席し、7月28日(土)に徳樹庵うめの間においてお祝いの会を実施しました。

当日は、宮川俊治副代表の司会進行で以下の次第に沿って行われました。

会長挨拶	藤浪康義会長
梅田市長ご挨拶	
井上議員ご挨拶	
花束贈呈	
梅田市長	矢野ミツエ
井上市議会議員	嶋田和子
乾杯の音頭	斉藤伸之
懇談会食	
閉会の言葉	松本春勇

お二方から当会の発展に関し力強いお言葉を賜った後、懇談会食に入ってから、全員での久喜市の歌の合唱、柏木会員による黒田節の舞(井上議員の民謡入り)など和やかで有意義なひとときとなりました。

★デンジソウ保護活動

2018年7月30日(月)

藤浪

デンジソウ保護活動に本会から6名、県と市から2名ずつ、鷲宮の辻さんの合計11名が参加した。本年度2回目なので、ヨシもそんなに伸びておらず1時間程度で終わりました。

2018年11月15日(木)

松本

デンジソウ保護活動に本会から1名、県が1名、市が2名、鷲宮の辻さんの合計5名が参加した。ヨシと雑草が大きく伸びており、4台の刈払機で草刈りを行い9時~11時15分までかかりました。

★ふれあいウオーク「赤城自然園と覚満淵」 2017年8月2日(木)

山谷

8月2日(木)晴天(猛暑) 定刻の午前8時に久喜駅東口から参加者29名を乗せて(ワゴン車分乗6名含む)バスは一路、東北道の久喜インターから赤城インターを目指します。平日でも夏休みの真最中、大型バスや家族連れ乗用車で混雑しています。

佐野サービスエリアで休憩して定刻通り赤城自然園に到着、注文しておいた方は上州御用登利平の鳥弁などを受け取り園内へ、赤城自然園は西武グループが植物の環境保全活動をサポートするために設置

した植物園です。園内は「セゾンガーデン」「四季の森」「自然生態園」に分かれており各々が森を楽しむアイデアが折り込まれています。最初に知的で健康的な群馬美人さんに1時間ほどレクチャーをしていただきました。

★フジバカマ

アサギマダラ（蝶）を呼ぶための食草（昆虫が餌とするの植物）として植えている

★ブナ

海拔1,000m～1,200mに生息する。最初は高地に植え、慣れたら少し低いところに植え替え、これを繰り返し赤城の海拔600mに合うように移植したもの。

★他にオミナエシ・ヤナギラン・オニユリ・クリンソウ・イワカガミ など

昼食は、樹上小屋のある森の遊び場で鳥弁など各々お楽しみいただきました！

◎ 覚満淵

赤城山（主峰 黒檜山1,828m）の直下にある周囲約1km沼、高山植物が咲き乱れる木道歩き、涼しい風が心地よい 猛暑の下界に戻りたくない。

★サラシナショウマ・ノアザミ・サワギキョウ・ウツボグサなど

◎ 酒造り見学 聖酒造（渋川市）

創業170年、赤城山麓の自然水を使い7年連続の金受賞蔵、清酒「関東の華」をおみやげに家で晩酌の友に2度ほど楽しみました。

帰路は関越道を渋川伊香保インターから定刻の18時30分過ぎに久喜駅東口へ無事帰還。会員皆様のご協力を感謝、有難うございました。

★ふれあいウォーク「わしのみや」2018年9月9日（日）9時分～

木下

今年4回目のふれあいウォークは、9月9日（日）重陽の日に開催されました。参加者は会員18名、一般8名で合計26名。絶滅が心配されている「デンジソウ」の現状を見てもらうため、昨年に引き続き同じ場所での開催です。幸いこの季節の雨には降られなかったものの、昼頃には夏の暑さがぶり返し、熱中症が危惧されるほどの陽気となりました。なお今回は、顧問の長須先生が高齢となったため、代わって代表の藤浪会長が講師を務めました。

コースは鷲宮総合支所をスタートし、「花と緑の元気ロード」に咲く、エノコログサ、コスズメガヤ、ガガイモ、メマツヨイグサなどの野草を観察しながら宝泉寺池までのコースを歩きました。

池の傍の畑地にはハイニシキソウとコニシキソウが比較観察され、ノブドウの実が成っていました。宝泉寺池から少し戻って、デンジソウの保護地へ。心配されたデンジソウの生息地は昨年秋からの県および市と本会会員等の活動が功を奏し、昨年よりは生息数が増えました。またここにはサデクサが多く咲いていました。今後の保護活動が期待されます。昨年はサクラタデも咲いていました。

生息地の隣の芝地は宅地化のため放置され草が伸び放題でしたが、ヤハズソウとカタバミの花が賑やかでした。

クズやヌスビトハギの茂みを見た後の、保護地からの田んぼ道は、事前に中土手の野草保護グループに草刈りをしていただいたおかげで、長靴がなくても無事通り抜けることができました。この辺にはキジが生息しています。通り道の乾田の縁にはキクモ、ミソハギ、ヒナガヤツリなどの花が確認できました。

その後、里山を歩いて抜ける予定でしたが、残念なことに入り口が資材置き場として造成され、今年

は里山の観察ができませんでした。1年経つとこのように人の手による環境の変化が植物の観察を難しくしています。

最後、コミュニティ広場を見下ろす木陰に集まり、いつものように参加者に感想を述べていただきました。

《 当日出席者の主な感想 》(文責会田)

山口さん 9月2日最終日に申し込んだ。いろいろな性格の植物を教えてもらった。

嶋田和子さん 頑張っているのですが名前が覚えられない。聞くので教えてください。皆で話をするのが楽しい。是非入会下さい。

石森さん 現役をリタイアした。することがなく毎日を過ごしていた。何か興味が持てるものを探して参加した。家に生える雑草がろくでもないと思っていたが特徴など発見できた。有意義な時間を過ごした。

荒川さん 今回の参加は長須先生のデンジソウの話を市民講座で聞いたからです。実際自分の目で確認できた。観光ボランティアをしているが自分の住んでいる環境を知らなかった。自分の力を地元で貢献したい。

蓮見さん デンジソウを記事にした。以前は草が多く見分けられなかった。今日は少し良くなっている。それを紹介したい。長須先生が10年以上に鷺宮広報に乗せていた。単行本にと頼んだが合併で消えた。いろいろな情報が載っている貴重な資料だ。

井上さん 今日はラクビー指導に来ている。皆さんの感想を聞かせてもらってよかった。

藤浪会長 朝方すずしく観察日和と思ったが途中から熱くへばった。一般3人は有能で入会してもらえればありがたい。鷺宮観察会は3回になる。鷺宮栗橋菖蒲と回っている。昨年のデデンジソウは保護されてなく充分に見られなかった。デンジソウはこのころがよいので実施した。

★キクイモ掘り

2018年12月9日(日)

松本

春の3月19日に植え付けを行い、8ヶ月半後の12月9日(日)に東地区の野草保護地でキクイモの収穫を行いました。参加者は10名。今年は、6月29日に梅雨が明けると言う異常気象でした。その為か分かりませんが、キクイモの花がほとんど咲かない状態でしたので、不作が予想されましたが、それほどひどい状況ではありませんでした。数日前、テレビで「キクイモが血糖値を抑える最強のイモ」である旨の放送を行っていました。これからは益々、キクイモが見直され人気が上がってくると思われます。

★ゆうゆうプラザ活動報告(30年7月~10月)

宮川

実施日時	学校名	参加生徒数	会からの参加者	活動内容
6月18日(月)	東鷺宮小学校	13人	塚原、斉藤、平尾、会田	ビオトープ・校庭にて野草の観察。 東コミニティーで野草の勉強
7月7日(土)	本町小学校	11人	宮川、松本、会田、木下	ザリガニつり、ロヂャース近くの田圃用水にて

7月9日(月)	東鷲宮小学校	13人	斉藤、平尾、花野	ザリガニつり、学校近くの田圃用水にて
7月9日(月)	太田小学校	18人	宮川、藤浪	ザリガニつり、学校内の側溝に前もって捕獲していたザリガニを放流し実施
9月3日(月)	東鷲宮小学校	13人	塚原、平尾、上原、 斉藤、宮川	クヌギ、シラカシとゾウ虫の生態。カヤツリ草での蚊帳作り。植物観察
9月10日(月)	太田小学校	12人	塚原、木下、斉藤、 会田	シラカシ、使い植物と生物の生態やカヤツリ草で昔し使われた蚊帳をした
10月6日(土)	太田小学校	11人	宮川、斉藤、花野	マテバシイ、スダジイ、クヌギ、トチの実で独楽、ストラップ等作り遊んだ
10月29日(月)	東鷲宮小学校	13人	宮川	マテバシイ、スダジイ、クヌギ、トチの実で独楽、ストラップ等作り遊んだ

★太田小学校ビオトープ再活動状況

ビオトープ委員 柏木

会報30号で報告したように、平成16年5月から始まった太田小学校のビオトープ再生活動が実を結び、市議会でも取り上げられ、教育委員会が調査を始め、ついに学校ビオトープ連絡協議会が開催されました。

<学校ビオトープ連絡協議会>

- 開催日 平成30年11月12日(日) 15:30～
- 開催場所 久喜市立久喜小学校図書室
- 出席者 久喜市教育委員会教育指導主幹 青山里美
久喜市教育委員会教育指導主事 萩原
久喜小学校 穂村校長・太田教諭
太田小学校 教諭
江面第一小学校 教諭
江面第二小学校 教頭
清久小学校 教諭
本町小学校 教頭・教諭
青葉小学校 教頭・教諭
久喜東小学校 校長・教諭
久喜北小学校 教頭・教諭
東鷲宮小学校 教頭・教諭・地域協力者
久喜小・久喜北小ビオトープアドバイザー 田口
太田小ビオトープアドバイザー 柏木

4. 会議内容

4. 1 連絡協議会の主旨説明

- ① 学校ビオトープの管理と作業頻度
- ② 教科書等の授業での活用
- ③ 学校ビオトープ管理に関して支援していただきたい事。

4. 2 久喜東小学校の再生されたビオトープを見学。

解説は次の方が対応し、どのように再生されたかを説明されました。

久喜小・久喜北小ビオトープアドバイザー	田口氏
太田小ビオトープアドバイザー	柏木氏
久喜東小学校教諭	太田先生

4. 3 情報交換・質疑応答

- ① 出席者を4グループに分け、情報交換（ビオトープの活用・管理についての現状と課題について）
- ② 質疑応答

これからも自然を愛する方々に支えられ活動に邁進して行きます。

★今後の日程

七草採取	31年1月5日(土)	10時00分	ロジャース駐車場
七草がゆの会	31年1月6日(日)	10時00分(会員は9時)	太田集会所
野草写真展「題名なし」	31年3月1日～7日		久喜中央公民館

★久喜の自然を愛する会のホームページのURL紹介

URLを変更しました。なお以前のURLも使えます。

<http://kuki.g1.xrea.com/>

久喜の自然を愛する会 検索 でも閲覧出来ます。

★編集後記

* 12月10日の気象庁の情報によると、①エルニーニョ現象が続いているとみられる。②今後春にかけてエルニーニョ現象が続く可能性が高い。との事。エルニーニョ現象とは、南米ペルー沖の海面水温が平年より高い状態を言う。冬期にエルニーニョ現象が発生している時は暖冬と言われている。

今年の秋は、東京では木枯らし1号が39年ぶりに吹かず、暖かい日が続いている。さて、この冬は、どうなるのでしょうか。

* 現在の会員数 49名

NPO法人久喜の自然を愛する会会報 NO31

2018年12月発行

発行 特定非営利活動法人久喜の自然を愛する会

発行人 藤浪 康義

編集人 宮川 俊治

松本 春勇